

HA で コ ー ト さ れ た 1 ピ ー ス 型 ナ ロ ー イ ン プ ラ ン ト (3.0mm) の 臨 床 成 績

岸 本 歯 科 医 院 岸 本 幸 康

目 的 : イ ン プ ラ ン ト 治 療 を お こ な う に あ た っ て 、 歯 槽 骨 の 水 平 的 な 幅 径 や 治 療 部 位 の 近 遠 心 的 幅 が 不 足 し た 場 合 、 イ ン プ ラ ン ト 埋 入 は 困 難 に な る 。 ナ ロ ー イ ン プ ラ ン ト を 使 用 し た 場 合 、 イ ン プ ラ ン ト の 機 械 的 強 度 や イ ン プ ラ ン ト と そ の 周 囲 骨 と の 結 合 が 咬 合 力 に 耐 え う る か が 問 題 と な る 。 HA で コ ー ト さ れ た 1 ピ ー ス 型 の ナ ロ ー イ ン プ ラ ン ト を 埋 入 し た 症 例 の 臨 床 成 績 を 発 表 す る 。

方 法 : 2003 年 1 月 か ら 2012 年 12 月 ま で の 10 年 間 、 イ ン プ ラ ン ト の 埋 入 が 行 な わ れ 、 上 部 構 造 を 装 着 後 半 年 以 上 が 経 過 し た 59 症 例 94 本 を 後 ろ 向 き に 調 査 し た 。 使 用 し た イ ン プ ラ ン ト は 直 径 3.0mm の プ ラ ズ マ ス プ レ ー 法 で 作 製 さ れ た ア ド バ ン ス 社 製 HA コ ー テ ィ ン グ イ ン プ ラ ン ト で 、 す

べて 1 ピース型である。以下の項目について調査した。1) 対象の性別および年齢、2) インプラントの埋入部位、3) 手術方法、4) 埋入から上部構造装着までの期間、5) 上部構造の作製方法。

結果：埋入されたインプラント 59 例 94 本中 1 本にオッセオインテグレーションが得られなかった。1 本が機能後 2 年で破折した。その他の 57 症例 92 本のインプラントは問題なく機能している。

結論および考察：歯槽骨の水平的な幅径や近遠心的幅が不足している場合、一般的には骨造成や矯正治療を行なうことでインプラント埋入が行われている。しかしながら、手術の侵襲が大きくなるだけでなく、治療期間の延長や治療費の増大も問題となる。ナローインプラントの使用はそのような問題を回避するが、インプラントの機械的強度やインプラントとその周囲骨との結合が咬合力に耐えうるかが問題となる。本研究では、1 ピースインプラントを使用することで、インプラント

の機械的強度増加を期待した。また、HAコーティングインプラントを使用することで、インプラントと周囲骨との結合強度増加を期待した。今回の臨床成績は、ナローインプラントの使用が歯槽骨の水平的な幅径や近遠心的幅が不足している症例の治療オプションになりうることを示唆している。